



今日も楽しく 明日が待ち遠しい 学校

幸手市立吉田小学校

本校では、児童の「認められたい・人の役に立ちたい・学びたい」と願う心を、「よ」「し」「だ」の合い言葉に折り込み指導の重点として取り組んでいます。

- 1 「よ」 よいあいさつ よい返事
よい言葉づかい よい歌声
- 2 「し」 しっかり勉強 しっかり運動
- 3 「だ」 だまって集合 だまって行動
だまって掃除

この重点の達成には、学校・家庭・地域社会が連携・協力体制をより一層強化し、日々の教育活動に取り組むことが不可欠です。

主な行事である「防災サバイバルキャンプ」では、地域社会の担い手として、災害時に自主的に働ける子供を育てます。「吉田地区体育祭・吉田小学校運動会」では、地域の皆様とともに自分の役割をしっかりと果たし、地域の一員としての自覚を育てます。



「吉田っ子フェスティバル」では、日頃からお世話になっている地域の皆様への感謝の気持ちを育てます。これからも、学校・家庭・地域で連携し、子供たちのよりよい成長を図っていきます。



第19回幸手あじさいまつり（6月13日撮影）

6月30日（日）まで、県営権現堂公園幸手権現堂堤で開催された、あじさいまつりの様子です。今年も市内外から大勢の観光客が訪れ、色とりどりに堤を彩るあじさいは、訪れた人たちを魅了しました。昨年も見に来られたという人は「梅雨の貴重な晴れ間で、あじさいも微笑んでいるようです。」と話していました。



江戸川クリーン大作戦

5月26日（日）江戸川河川敷で行われた、クリーン大作戦の様子です。昭和56年から江戸川沿川13市区町で行われています。ひばりなどの野鳥のさえずりを聞きながら、地域のみなさんや中学生はごみを拾い集めていきます。参加した人は「以前はタイヤとかあったけど、今は人の目もあるしキレイだよ！」と話していました。



田んぼの妖精「ホウネンエビ」観察会

5月19日（日）西公民館付近で行われた、ホウネンエビ採集と観察会の様子です。ホウネンエビは、豊年魚、豊年虫とも呼ばれ、水田に多く出現した年は豊作になると言われています。顕微鏡でのぞき込むと、遊泳脚が羽のように見えるので、妖精を見ているようです。鑑賞した人は「少年の心を取り戻しました！」と話していました。



※地権者の許可を得て、採集しています。



幸手市文化団体連合会発表会

6月9日（日）北公民館で行われた、幸手市文化団体連合会発表会の様子です。幸手民謡連合会の演目「南部よしやれ」で出演した、オズセベル アラーラさん（長倉小6年生）は、3年生の秋から民謡を始め今年で3回目の参加。出だしの唄声にインパクトがありましたが、の問いに、「師匠からは、出だしが肝心と言われているのですが、今日は上手にできました。」と笑みを浮かべます。また、今年は地区大会を38人中5位で通過し、8月4日から品川区で行われる、民謡民舞少年少女全国大会（日本一決定戦）に出場されるとのことで、「大会に向けて、繰り返し稽古をしています！」と意気込みを話してくれました。



療原短歌会
ペランダに漸く
育ちし絹夾の
さや五つ六つ
摘みて清しも
おそろいの帽子で
散歩の老夫婦
花屋の窓に
影が寄り添う
紫蘇の葉を
さぎむ厨に顕ちきたる
料理好みし
母若かりき
炎天の
青柿の下まざれいし
ひっそりとあり
蟬のぬけがら
妻のうであがりしみたい
春の朝
フリーズドライの
あさり汁うまし
柿・柰榴
ツバキ咲き散る
荒屋敷風が吹きすぐ
時が去りゆく
桑島正江・東四

若草俳句会
「清明・野遊び」
野に遊び
ポッケ膨らむあにいと
中田志づ・幸手市権現堂
清明の
雨に洗われ木々光る
田村千秋・さいたま市南区
野遊びや
水なき川の中州まで
鴨田とし子・幸手市中
清明や
枝に土鳩の無我の境
林綾・幸手市千塚
清明や
精進料理よろこばれ
永田民子・幸手市南
野遊び
母ぬくもりのむすび食べ
高橋照子・幸手市中野
清明の
空晴れ渡る伊勢神宮
古谷まき枝・幸手市上高野

